

地域課題・目指す将来像

地域課題

- 漁業における人材不足・環境変化のモニタリングコスト増大・水産資源の枯渇
- 移住定住促進のためのコスト増大
- 農業分野における生産コスト増大・人材不足

将来像

- 日本一のぶりの養殖業を誇る長島町の水産業を先端技術により、さらに稼げる産業にしてい
- 全国から移住定住の促進ができる魅力ある地域にしてい
- だんだん畑を利用した赤土じゃがいもづくり・柑橘栽培を持続可能な産業にする

推進体制



課題解決に向けた取組

日本一の鰯のスマート養殖事業

- ・潜水ロボットを使った養殖生け簀の清掃
- ・広域赤潮モニタリングにおけるドローンの活用
- ・養殖用種苗の効率的な確保のためのドローンによる漁場探索
- ・生産から出荷までを一貫してロボットが行う加工場の自動化



鰯養殖の給餌の様子

VR/ARを活用した移住定住相談事業

- ・町内各地の不動産情報（空き家）のVR内見
- ・AR技術をつかった遊休資産（空き家など）リノベーション体験
- ・教育環境や仕事といった生活などを体験できるVRコンテンツ
- ・遠隔からでも対応可能な移住相談窓口（リモート接客）



VR/ARによる見える化

山間部におけるスマート農業事業

- ・土壌分析の画像診断による効率的な栽培方法の確立
- ・山間部のだんだん畑に利用できるドローン活用
- ・柑橘栽培の消毒・肥料の自動散布システムの確立



柑橘の露地栽培の様子

2022年度の 主な取組

- 生簀につかった技術実証実験・効果検証
- AR/VRをつかった移住システムのモデル構築・効果検証

取組内容

AR/VRを活用した不動産案内実験（2021年4月）

- 長島町・川商ハウス・株式会社Synamonの3社連携により「VRを活用した不動産案内」の実験を行った
- AR/VRを活用した不動産案内の特徴
 - ・遠隔からVR空間に入ることができ、複数人がリアルタイムでコミュニケーションをとることができる
 - ・360度カメラで撮影した「島の生活の様子」や「物件の外観」などを表示しながら案内することができる
 - ・不動産情報を乗せた画像資料などを、バーチャル空間で資料のように説明することができる
- 展開方法
 - ・移住促進のためのイベント・空き家の活用方法の紹介など運用面での活用方法を検討し2022年度に実証計画中



VRヘッドマウントを装着して案内をしている様子



VR上の不動産紹介画面



画像を使った案内者の操作画面

取組内容

AR/VRを活用した不動産・観光情報案内実験（2022年11月19日～20日）

- アイランダー2022の会場にて、長島町・獅子島の**不動産及び観光情報**を紹介する**実証実験を実施**
- 実証実験の内容
 - ・ 長島町・獅子島の観光スポットを撮影（合計5回）
 - ・ 空き家の外観及び内観の撮影
 - ・ 合計35名がVRによる空き家見学を体験
- VRを活用した物件紹介により、体験した人は**現地に行かなくても物件の情報を確認できる**という、これまでにない便利さを実感できた

